

05年06月14日 ■参議院内閣委員会での細田官房長官答弁

6月14日の参議院内閣委員会で森ゆうこ議員（民主）の質問に対する細田官房長官の答弁。

○森ゆうこ君（途中略）これから救出に向けていつまでに何をするのか、具体的にお答えいただきたいと思います。

○国務大臣（細田博之君） できるだけ努力を今後とも継続したいと思います。

それには交渉のテーブルに着き直すことが大事でございますし、それから別途進められております六か国協議も再開に向かって今協議が進められておりますが、こういったところで直接顔を合わせて、それをきっちり申し入れるということが今後可能になる可能性が今大きくなっていると思っております。

○森ゆうこ君 政府、我が国政府が、我が国の国民が拉致されて救出を待っているときに、我が国の政府が自分でできる、主体的にできるということを、いつまでに、どのように、何をするのか、具体的にお答えいただきたいという質問なんですが。

○国務大臣（細田博之君） 先方も政府で、彼らのこの領土の中においてはあらゆる人に対する権限を持っておりますので、これは我々が説得をして、そして彼らがついに、実は生きておりました、全員返しますと言うまで粘り強く交渉をすることが我々の今の方針でございます。
